

# PEACE

---

**Palliative care Emphasis program on symptom management  
and Assessment for Continuous medical Education**

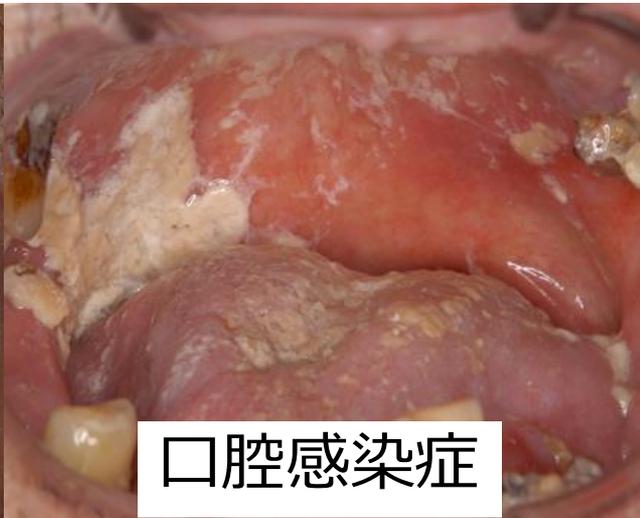
参考資料

# がん患者の口腔内の問題と 医科歯科連携

# がん患者の口腔トラブル 口腔トラブルの頻度は高い



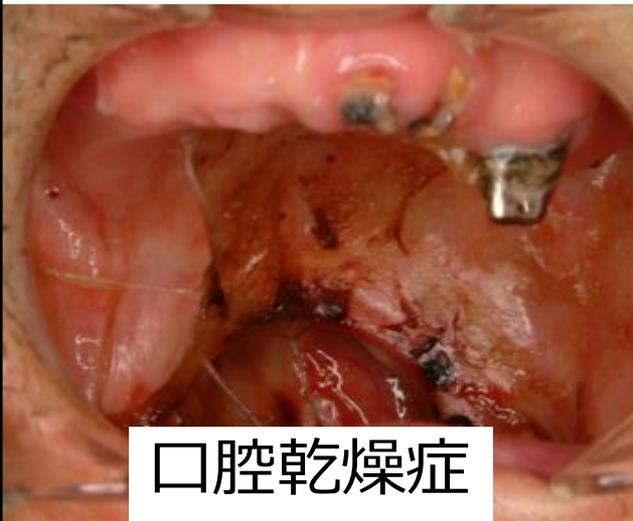
口腔粘膜炎



口腔感染症



顎骨壊死



口腔乾燥症



清掃不良、口臭



出血

# がん患者の口腔トラブル 口腔内の乾燥

- がん患者の多くは口腔内の乾燥を苦痛に感じている
- 口腔粘膜の乾燥は、様々な口腔有害事象に悪影響を与える
- 適切な保湿が症状を緩和し、口腔有害事象を予防する

# がん患者の口腔トラブル 感染源になりやすい

- 誤嚥性肺炎をはじめ、口腔内常在菌を起因菌とした全身感染症を起こすリスクがある
- 口腔内の局所感染も多く、特にカンジダ感染症の頻度が高い
- 口腔内を清潔に保つことで感染リスクを減らすことができる

# がん患者の口腔トラブル 歯科との連携が有用

- 負担の少ない応急的な歯科処置、口腔ケアによって、口腔の不快感の緩和、経口摂取や円滑な会話の支援につながる
- 毎日の口腔内の観察により、清掃状態、乾燥状態、感染所見の有無を確認する
- 適切な口腔セルフケア指導を行い、保清と保湿に努める
- 口腔内に問題がある、もしくは悪化した場合、早めに歯科との連携を開始する

# がん患者の歯科連携について

- 歯科への依頼のタイミングは？
  - 口の中の問題であれば気軽に相談してよい
  - 「看護サイドからの口腔ケア方法の相談」などでも、歯科と連携をとると、質の高いケアが期待できる
- 様々な苦痛症状の中で、口腔の問題は後回しになりがち
  - 「お口のことですら困ったことはないですか？」の問いかけも重要

# 歯科連携に関する誤解や疑問 歯科治療はがん治療の妨げになる？

- 患者さんの状況に合わせて、時間をかけず、負担の少ない歯科治療・口腔管理が可能
  - 全身状態を考慮し、口腔の症状緩和に重点をおいた歯科介入が可能である

# どの歯科医院へ依頼すればいい？

- 「がん連携登録歯科医」に紹介する
  - 質が担保された講習会を受講した歯科医
  - 該当する歯科医療機関の名簿は、国立がん研究センターのホームページにて公開

[http://ganjoho.jp/professional/med\\_info/dentist\\_search.html](http://ganjoho.jp/professional/med_info/dentist_search.html)

- 詳細は各都道府県の歯科医師会に、問い合わせ下さい